

いわいずみ 議会だより Iwaizumi

ふるさと岩泉の
大家族⑥
かみひなたこういちろう
上日向幸一郎さん一家
(安家地区)
(関連記事 16頁)

2016
8.1
No.

176

発行 岩手県岩泉町議会



議員定数1人減 14人に…2

町の考えを問う(5議員が一般質問) …6

議員と語る会開催報告…12

15人から14人に

議会改革に町民の声を反映



6月定例会は6月8日から10日までの3日間にわたり開かれました。一般質問では5人の議員が登壇し、小本産直施設、定住化、国体、温浴施設、地消地産条例、漁業者の担い手対策など町政全般にわたり論戦を展開しました。

また、町長から提出された条例改正や補正予算は、特別委員会（坂本昇委員長）を設けて集中審査。その結果すべての議案を原案のとおり可決しました。

岩泉町議会では議会改革の一環として、議員定数の見直しを行いました。平成27年11月に開催した、「議員と語る会」の各会場において、町民と意見交換を行ったところ、議員定数を決める要素は、人口・面積・地域性・近隣町村の動向が重要との意見がありました。さらに議会基本条例推進委員会（佐々木久任委員長、委員5人）と有識者3人が意見交換を行い、その結果、現在15人の定数から1人削減し14人にすることに方針を固め、6月定例会において全会一致で決定しました。

議員定数の推移

平成元年…22議席	平成17年…18議席
平成5年…22議席	平成21年…16議席
平成9年…22議席	平成25年…15議席
平成13年…22議席	平成29年…14議席

近隣市町村の議員定数

平成28年7月1日現在

	議員定数	人口	議員一人当たりの住民数
普代村	10人	2836人	283人
田野畑村	10人	3599人	360人
宮古市	28人	55458人	1981人
山田町	14人	16238人	1160人
大槌町	13人	12307人	947人
岩泉町	15人	9968人	665人

議員定数 1人減



奥岩泉トンネル補修工事契約を可決



事請負契約に関する3議決と財産(動産)取得に関する5議決を可決しました。

主な内容は次のとおりです。

工事請負

■奥岩泉トンネル補修工事

▽金額 2億844万円

▽請負者 高德建設(株)
 ■町道下岩泉4号線改良舗装工事

▽金額 8780万円

▽請負者小野新建設(株)

■町道早坂1号線舗装工事

▽金額 7182万円

▽請負者小野新建設(株)

▽財産取得
 ▼トラクター 1台 1319万円

▼フォレージハーベスタ 2台 1420万円

▼家畜車 1台 1007万円

▼クレーン付きダンプトラック 1台 1280万円

▼スクールバス(小本小・中の通学用) 1台 589万円

派遣法違反の事実がないことを報告

中居健一副町長が行政報告を行いました。内容を要約してお知らせします。

▼町が発注した工事で、小野新建設(株)が違法派遣を受けていた疑いがある、との報道について、岩手労働局長から小野新建設(株)に対して指導票による指導が行われ、同社から町に報告がありました。

岩手労働局の調査結果は、労働者派遣法の法律違反にあたる事実はなかったとしています。

しかし、「労働者派遣事業と請負事業の区分に関する基準を定める告示」の基準を満たさない恐れがある工事が一部確認されました。

それに対し、同社自ら点検・確認を行い、是

正措置を講じたうえで岩手労働局長に書面報告することとしています。今後、町が発注工事の全体にわたり、国、県と情報共有をはかりながら、より厳格に対応していきます。

町教育委員 岩泉の東野さんを任命



とうのあや 東野亜弥さん

町教育委員に、岩泉の東野亜弥さん(35)を任命することに同意しました。東野さんは、これまで同委員だった八重樫美智子さんが6月28日で任期満了となったことから、新たに任命されたものです。任期は6月28日から4年間です。

林業振興に

高性能機械7台を補助！



整備が必要な森林と導入予定の高性能機械（右）

条例補正予算等審査特別委員会（坂本昇委員長）では、森の越中央線などの町道認定および条例改正や補正予算を慎重に審査しました。審査の結果、付託された7議案すべてを可決すべきと決定。その後の本会議で、全会一致で原案のとおり可決しました。委員会の審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。

- 問** 補助金を交付する7事業所は法人なのか、個人なのか。
- 答** 法人が3団体、個人が4人である。
- 問** 補助率と限度額はどうか。
- 答** 補助率は2分の1、限度額は1500万円。
- 問** 林業の活性化は進んでいるか。
- 答** 林業の経営は、木の値段が安く厳しい状況が続いている。しかし、本機械の導入要望があったことは、素材生産の意欲の表れであり、町も応援する。

条例改正と補正予算の主な内容

- * 岩泉町復興産業集積区域における固定資産税の免除に関する条例の一部改正
現行の課税免除の指定適用期間を平成29年3月31日まで延長にするものです。
- * 小本地区地域資源活用施設整備事業 3億896万円
海産物や農産物などの販売と地域資源を生かした加工販売、漁業体験、イベントを行う施設を整備するものです。
平成26年度の事業計画（老人と海作戦）を見直したものです。
- * 定住化対策住宅建設 5571万円
東上町地区に定住化対策住宅4戸を建設するものです。
- * 子育て支援宅地造成事業の土地売却収入 2104万円
森の越地区の定住化促進住宅6区画の土地を売却したものです。

6月補正予算の状況

会計名		補正額	補正後の予算額
一	一般会計	4億6003万円	113億8003万円
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	348万円	16億1788万円
	簡易水道	1469万円	5億919万円
	観光事業	△6万円	2億3804万円

林業振興の促進のため、高性能機械導入に伴う補助金1950万円を7事業者に交付するものです。

当初予算で7台分、2000万円を計上し、あわせて3950万円となりました。

合併60周年記念事業は 式典等600人の計画

岩泉町合併60周年記念事業は復興感謝の集いという意味合いを含め、本年9月30日(金)に小本小・中学校の体育館を会場に開催する。全世帯配布用記念品などをはじめ記念式典祝賀会費を見込んでいる。

問 開催規模はどれくらいか。

答 600人規模で計画し、午前中に記念式典、午後に祝賀会を予定している。

問 被災地域関係者などについても案内するのか。

答 復興事業の用地提供者140人をはじめ、町内の自治会長、行政連絡員に案内、また、小本地区の人にもおいでいただきたいと考えている。



岩泉町60周年記念ロゴマーク

森の越線の工事着手は 設計後の来年度に予定

森の越中央線として、国道455号の薬王堂付近から町道沢廻線に通じる路線360メートルを、支線としてその中央線から町道沢廻住宅線に通じる路線142メートルを町道に認定。

問 工事着手はいつか。

答 来年度の予定である。

問 支線の終点、沢廻町営住宅付近の交差点が変則で危険である。改良されるのか。

答 測量設計する段階で検討を加える。

共進会場の植栽内容は ニオイヒバ285本を植栽

問 植栽工事の内容を示せ。

答 アンモニア除去能力の高い樹種であるニオイヒバを植栽する。芳香性もあり、地域住民に配慮したものである。

問 植栽は6月中に行うべきである。

答 6月、7月が適期であるが、なるべく早めに植栽する。

問 本数と管理体制はどうか。

答 総数285本を計画している。管理は農林水産課直営である。

問 完成イベントのセレモニーは考えているか。

答 現在は予定していない。

ニオイヒバ285本を植栽



開通式典の内容を示せ

安家産直で歌謡ショー

問 久慈岩泉線の負担金300万円と式典の内容を示せ。

答 開通に伴う式典関係を含めた負担金である。イベントは大月峠という地名にちなんで「大月みやこの歌謡ショー」を安家産直

のステージで行う予定である。

問 式典の開催日はいつか。

答 10月第2日曜日の安家べこ祭りの日を考えている。



9月22日の供用開始を前に着々と工事が進む安家大月峠

町の考えを問う

一般質問

6月8日に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。

内容を要約して登壇順（質問順）にお知らせします。

なお、質疑全文を記録した会議録は、10月上旬ごろから町立図書館または役場各支所図書室で閲覧可能となる予定です。

5人の議員が発言

～質問内容～

- 坂本 昇（7ページ）
 - ・老人と海作戦事業の進捗状況は
 - ・国体開催の積極的取組を
- 野館 泰喜（8ページ）
 - ・メデイカルトロンの整備を
 - ・移住・定住支援室の設置を
- 三田地久志（9ページ）
 - ・地消地産条例の制定を
 - ・障がい者への支援を聞く
- 八重樫龍介（10ページ）
 - ・定住化にむけ制度の拡充を
 - ・補助申請の窓口の一本化を
- 林崎寛次郎（11ページ）
 - ・漁業者の担い手対策を問う
 - ・漁業共済掛金の助成の引上げを



一般質問とは

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねること、あるいは報告や説明を求めることを言います。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから、事前に質問内容を全文通告しています。制限時間は、質問答弁を含めて1人60分以内とされています。再質問は、一問一答方式で行い、時間内であれば何度でも質問ができます。

岩泉HD初決算

地域経済を発展させ、雇用の創出と6次産業化を推進することを目指し、第三セクター4社をホールディングス（以下「HD」）化し、本年1月に岩泉ホールディングス株式会社を立ち上げ、3月に初の決算を行いました。

今後の岩泉HDが進むべき道としては、第1次産業の振興、6次産業の加速化に加え、地域のさらなる振興・活力と地方創生に関する事業展開をはかる役割があります。

さらには、地域資源を活用した新たな商品開発研究や事業展開、観光振興、販路開拓の取り組み、後継者の育成や就労支援による定住化対策にも期待するものです。

今後の課題としては、各施設の老朽化などもあり、施設の更新などが控えています。

しかし、ホールディングス化による機能集約やリーディング商品による岩泉のブランド化などをはかることができますので、さらなる成長が期待されます。



第三セクター 2社の決算状況の概要（27年度決算）（参考として子会社4社決算を掲載）

会社名	資本金	町出資比率	経常損益	純損益
岩泉ホールディングス(株)	5000万円	91.7%	▲21万円	▲26万円
参考：子会社決算				
(株)岩泉総合観光	1億円	72.5%	1531万円	1010万円
(株)岩泉産業開発	4億2600万円	86.9%	1463万円	1051万円
(株)岩泉さのこ産業	3億500万円	93.1%	5727万円	2440万円
岩泉乳業(株)	3億8000万円	95.8%	1億6293万円	1億3676万円
(一社)岩泉農業振興公社(※)	4500万円	83.3%	▲326万円	▲115万円

※ 決算に会社法を適用しないので表記が異なります。
「資本金」⇒「基本財産」、「経常損益」⇒「一般正味財産増減額」、「純損益」⇒「指定正味財産増減額」



さかもと のぼる
坂本 昇 議員

老人と海作戦事業の進捗状況は 事業を精査し早期に着手 伊達町長



早期完成が望まれる小本地区地域資源活用施設用地

問 被災地跡地活用事業である老人と海作戦は、震災復興の目玉であり地区民からの期待が大きい。

本施設は、隣接する普代村、田野畑村や宮古市田老地区との広域的な海を生かした施設として早期完成が望まれる。

当所計画では、完成は平成27年度となつていますが、現在の進捗状況はどうなつてい

町長 地域住民とのとの協議を経る中で、ワークシヨップや保健 事業費も含め大幅な変所の指導および水産庁 更が生じた。

このことから、金額の精査を行い、6月補正予算で組み直し実施するものである。完成は、大幅に遅れるが、一日も早い完成を目指して進めていく。管理運営は、小本浜漁業協同組合を中心とし、近隣の漁業協同組合とも連携した体制を視野に入れている。

国体開催の積極的取組を 町民総参加の体制で臨む

問 本年10月2日・3日に開催される国民体育大会は、町のPR、イメージアップやスポーツ振興の気運高揚など、幅広い影響を町内外に与える。

開催に向けて施設整備に遅れないか、運営体制は万全か。また、おもてなしについてどのように町民や関係機関・団体との共有をはかっていくのか。

運営体制については、専門委員会を立ち上げ、総務企画・競技運営・おもてなしの三つの分野に分け、活動を展開していく。

また、おもてなしについては、各地域振興協議会の協力を得て、「花いっぱい運動」のほか、清掃活動や応援団の編成、お振る舞いなどを実施していく。

町長 東日本大震災の際の全国からの復興支援への感謝を示す大会として、全県的に取り組んでいる。

町としても、町民総

参加で臨んでいくことが重要である。施設整備は計画どおり進んでおり、7月から供用開始の予定である。

問 これまで、温泉施設の検討をし、温泉探査の調査も行ってきた。結果は、芳しくなかったが、諦めたのか。自然がだめなら、人工温泉という方法もある。

トロン温泉（※）の病的効能と予防効果が実証され、全国に広がりを見せ始めている。花巻市の施設には、県内外から治療のために通っている方が少なくない。

予防効果を考え、脳卒中による死亡率県内ワーストワンから脱却する一助になる可能性は大きいと考える。

トロン温泉の実現に向けた決意を伺う。

町長 温泉などを利用 増進、保養療養に有効した保養施設の整備に であるとの判断からそについては、町民の健康 の実現の可能性を探っ

移住・定住支援室の設置を

事業を見ながら組織再編

問 本町では、定住化対策の一環として、都市からの移住者の促進をはかろうとしている。

その促進をより加速させるために、情報発信や移住者ケアを役務とする「移住・定住支援室」を設置する考えはないか。

町長 全国的に人口減少対策として、仕事づくりや移住者対策などの取り組みが積極的に進められている。

本町でも、平成27年度から5年間を期間とする「岩泉町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で定住化対策を最

てきた。結果としては、掘削などに伴う費用対効果の観点から見送っている状況である。

トロン温泉の整備については、温泉の湧出が必要なく、施設整備する場所の制約もない。また、掘削費用も削減できることから、さまざまな面で有効であると考えている。

今後、2年以内を目標に情報収集を進め、検証しながら、事業を進めていく。

重要課題としている。

そのために、本年度当初から政策推進課内に地方創生対策室を設置した。ここを、移住・定住用住宅の整備、移住希望者への情報発信、相談受付などの専門窓口としている。

移住・定住支援室については、地方創生対策室の業務量や事業展開の範囲などを見ながら、組織再編の方向付けをして行く。

野館泰喜 議員

メディカルトロン^{だてやすき}の温泉整備を

2年以内を目標に検証を進める

伊達町長



トロン温泉の製造設備と浴槽

(※) 放射線効果のある人工の温泉



みたちひさし
三田地久志 議員

地消地産条例の制定を

制定を前向きに取り組む 伊達町長



地消地産の取り組み（軽トラマルシェ）

問 町内の食品製造、販売、飲食など食にかかわる者が率先して町内農林生産物を用い、生産者と生活者の架け橋となる地消地産（地域で消費する物は地域で作る）の推進をはかる必要があると考える。

さらには、学校教育、生涯学習、福祉分野、観光産業などあらゆる場で「食育」を押し進め、食を通して「もの」と「ところ」とともに真に豊かな地域社会を創造するため、地消地産の推進条例などを制定する必要があると思いがどうか。

町長 町として取り組むては、産直施設での農んでいる「地産地消 林水産物の販売、学校給食の食材としての提（※）の推進」について

障がい者への支援を聞く

月1回わくわく教室を開催

問 幼児期の障がいについては、早期の支援が有効と聞が、町ではどのような支援を行っているか。法律の枠組み内の対応、あるいは町独自の支援策もあるか問う。

町長 幼少期における 児童相談所、県立療育発達障がいなどに対する センターの巡回指導がある町独自の取組は、在 年2〜3回ある。宅心身障がい児集団指導 教育長 特別な支援を導事業（わくわく教室） 要する子どもを学校でを専門スタッフとともに の支援方法は、これまに月1回行っている。 で、障がいを持つ子供他に、恵風支援学校、 の通学先は「原則とし

供にとどまっている。条例が住民自治の原則に基づいた役割を担うものであることから、食による町づくりの醸成に向け、「地消地産の推進条例」の制定を前向きに取り組む。

そのほかの質問

▼私立大学への進学支援

て特別支援学校」と法令で定められていたが、本人や保護者の意向を尊重して小中学校に通うことができることされた。

就学後の対象児童には個別支援計画を活用し教育相談会を通じ合意形成をはかっている。また、支援を必要とする子どもへの指導にあたるため4校に8人の学習支援員を配置している。

(※) 地域で生産された農産物や水産物をその地域で消費すること

問 町には、空き家を希望者に貸し出すための増改築に対して、リフォーム奨励金制度があるが、トイレや風呂などの水まわりの改修を考えると、1割補助では対象者の負担が多すぎると考える。そこで、町民の経済的負担が軽くなるよう、動産の処分費用やハウスクリーニングの費用なども対象に盛り込み、5割程度の助成にするなど、制度の拡充をはかるべきと思うがどうか。

町長 奨励金は30万円を交付している。を限度とし、対象工事 トイレや風呂などのに係る費用の10分の1 水まわりの改修には、

補助申請の窓口の一本化を

円滑な手続きにむけ検討

問 町には、リフォーム奨励金制度の他に、町産材利用拡大事業・浄化槽設置事業費補助金の制度もあるが、手続きの窓口がバラバラで非常に利用しにくい状況になっている、そこで窓口を一本化すべきと考えるがどうか。

また、把握している空き家のうち、速やかに入居できる戸数がどの程度あるのか、「空き家バンク」の進捗状況と今後の展開について町長の見解を聞く。

町長 各種補助金相談 ことから、申請や相談窓口の一本化について をする人たちが不便を感じていると思われる。関係課が分散している 今後は、現在検討し

かなりの費用が掛かり現状では、対象となる人の費用負担も多くなっているものと思われる。

これらについて、対象物件の見直し、交付金の限度額および交付率の引き上げなど、負担の少ない便利な事業とし、定住化にもつながるよう改正していく。

ている組織再編の中で受付窓口を設け、円滑に各関係課の手続窓口へつなぐよう行政サービスの向上に努めていく。

また「空き家バンク」の進捗状況と今後の展開については、平成27年度に全町約990戸の空き家の外観調査のみを行い、本年度、そのデータ整理、詳細調査、スクリーニングを行う予定である。

や え が し り ゅ う す け
八重樫龍介 議員

定住化にむけ制度の拡充を 限度額の引き上げなどを行う 伊達町長



空き家の詳細調査などが行われています



はやしききょうじろう
林崎 竟次郎 議員

漁業者の担い手対策を問う

漁協を通じて支援していく 伊達町長



小本港に停泊中の漁船

問 被災した小本地区において重要なのは、漁業の振興である。他の1次産業同様、漁業でも担い手対策は喫緊の課題と考える。漁業者の担い手対策として、県の基金事業があることから、その活用検討、あるいは町独自の事業があるか問う。

町長 岩手県漁業担い手育成基金を活用し、アへの参加などを実施する予定である。サケに関する小中学生 また、漁業担い手育への漁業体験学習事業 成推進事業として、新や新規漁業就業者を募 規漁業就業者の漁業活集するための就業フェ 動等経費や小型船舶免

漁業共済掛金の助成の引上げを 現状では十分と考える

問 漁業共済掛金補助事業として実質負担掛金の20パーセントを町が助成している。宮古市は30パーセント、田野畑村は50パーセントを助成している。自然災害による被害が絶えない状況にあり、漁業者にとって、かけがえのない制度となっている。近隣市村並みに町の助成を引き上げるべきと思うが。

町長 自然災害などの被害にあった時に損失が補てんされる制度であり、漁業者に必要不可欠な制度と考えている。共済掛金について

は、国が77.5パーセントを支援している。残りの漁業者負担に対する県内の沿岸市町村の支援状況を見ると、補助率は10パーセント



サケの稚魚放流をする児童

許などの資格取得費用について、小本浜漁業協同組合を通じて支援し、新規漁業就業者の確保に努めていく。

から50パーセントである。本町では、20パーセントを支援しており、小本浜漁業協同組合でも10パーセントを上乗せして補助しており、現状では十分と考えている。

そのほかの質問

- ▼被災者の医療費・介護保険利用料について
- ▼国民健康保険税について

世代の熱い声

第7回「議員と語る会」は、議会活動の報告と定住化・子育てなどについて、岩泉高校生、園児の保護者と保育士、地域振興協議会と岩泉町地域づくり支援協議会の3分野で意見交換を行いました。各分野での熱い声の一部を紹介します。

3つのテーマでワークショップ



意見を出しあう生徒

高校生19人と議員11人の参加で意見交換会を行いました。冒頭、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことから自治体の仕組みと被選挙権、岩泉高校への町の支援策などを説明しました。

その後、3グループに分かれて行ったワークショップでは、町を良くしたいという意欲を感じました。

(座長 三田地久志)

テーマ1 医療について 手術ができる設備を

(チーム医療・佐々木 碧海・坂本奈月・大沼 優・山崎茉桜・加藤 巧・佐々木登夢)

(課題)

- ・医師不足が深刻。
- ・待ち時間が長い。
- ・手術ができない。

(対策)

- ・医師確保。特に、手術のできる医師の確保。
 - ・スペースの確保。
 - ・機材の導入。
- (目標)
- 手術ができる設備を！
- (ファシリテーター)(※ 坂本昇)

テーマ2 子育てについて 街中に大きな公園を

(チーム朝日・三上 あり・千葉朝日・三上香織・田村祐樹・町平 悠斗・佐々木大武)

(課題)

- ・子どもが遊べる場所が少ない。
- ・通学が不便。
- ・世代間交流が少ない。
- ・子どものスポーツ離れ。

(対策)

- ・街中に大きな公園を作る。
 - ・地域公共交通会議に高校生が参加する。
 - ・世代間交流の新しいスポーツイベントを開催する。
- (ファシリテーター 三田地久志)

テーマ3 定住化について ぴーちゃんビジコンの実施

(チームほぼデルズ+ 1..小野寺未来・加藤 真奈・中川大雅・昆野 昇輝・加藤駿也・八重 椋龍・日吉未宇)

(課題)

- ・仕事と住宅が重要。
- ・楽しさとやりがいの創造。

(目標)

- ・若者をひきつける新しい仕事を増やす。
 - ・ぴーちゃんねつとを活用したビジネスコンテストの実施。採用案には初期費用の補助など。
- (ファシリテーター 野館泰喜)



発表する生徒

岩泉高校
6月15日
開催

(※) ワークショップの進行役

第3回分野別 議員と語る会

高校生・子育て

町内の保育士11人、園児の保護者19人の計30人に集まっていたいただきました。参加議員12人との意見交換会はお互いに意義ある時間を共有できました。その一部をご紹介します。(座長 坂本 昇)

保育士への支援を

参加者の意見

▼保育士確保対策として、医療奨学生のように義務履行した場合は奨学金の免除する制度を取り入れるかどうか。

▼将来、子どもが減ると保育士が定員超過となるおそれがあるので、介護に関する資格などを取得する制度を設けてはどうか。

議員の発言

▼正職員の保育士確保に苦勞していると聞く。任期付職員や資

格要件の緩和などで確保に向けた動きはある。希望者がどの程度見込まれるか調査する。

保育士確保に 改革を

園児の保護者
保育士

6月22日
開催

民営保育所(※)の存続を

参加者の意見

▼子どもの数が減ってきたから閉所というのではなく、学童保育との併設で存続することは考えられないか。

▼釜津田保育所は、2世帯で4人という現状であり、いずれ無くなると思う。その後は、こがわこども園に入園することになると思うが、送迎バスで対応できないか。

▼保育士を親が見つけなければならぬ。その際、社会保険の適用になっていないことで厳しくなっている。

▼保育士を社会保険に加入させたいということで、担当課に相談したことがあるが、その時点では難しいということだった。運営協議会の事務負担が重くなっている。社会保険の適用を保護者の事務で行うことは難しいと思う。



お絵かきをする民営保育所の園児

議員の発言

▼人数が少なくなる中、小学校、中学校も同様の問題が生じている。送迎に関しては、安全面から早急に対応を考えていきたい。

▼町内で保育士の待遇が違いすぎるということは、大きな問題だ。議会で調査研究して、改善を当局に伝えていく。

▼保育士確保に関しては、さまざまな意見を参考にし、今後も積極的に提言していく。



民営保育所の実情を話す参加者

(※) 地元の保育所運営協議会などによって運営されている町内4地区5施設

定住化に熱弁

地域振興協議会
岩泉町地域づくり支援協議会

6月23日
開催



定住化の問題に真剣に聞き入る出席者

各地域振興協議会から12人、地域づくり支援協議会から8人が参加して、議員13人と活発な意見交換を行いました。

定住化というテーマでそれぞれの立場から有意義な意見、提言をいただきました。

(座長 野館泰喜)

地域振興協議会



意見に聞き入る議員

- ▼ 各種の就農支援制度があるが、利用できない場合が多い。
- ▼ 自分の家庭に置き換え、わが子が定住化するためにはどんな環境が必要か考える。
- ▼ 老後の不安から、子どもを多くつくれない。
- ▼ 例えば、5人育てた親には、町から5万円の年金を出すくらい思い切った政策が必要だ。
- ▼ 町の情報発信がうまく整理されていない。自分の孫が県内にいるが、岩泉高校に入るよう説得している。
- ▼ 木の上にツリーハウスを作って暮らしているカナダ人が講演に来る予定だ。一人ひとりができる魅力づくりをするべきだ。
- ▼ 議会の仕組み同様、地域振興の基本理念としてまちづくりの基本条例をつくるべきだ。
- ▼ 若い人の交流の場をつくるべきだ。
- ▼ 次の世代に残せるふるさとづくりをした



新たな観光体験（ツリークライミング）が始まっています

岩泉町地域づくり支援協議会

- ▼ 田舎暮らしをしたい人はいっぱいいる。インターネットで仕事と住まいの情報が無い。
- ▼ 1次産業に魅力を感じている人は多い。
- ▼ 町の山林資源、特に、広葉樹は可能性を秘めていると思う。
- ▼ 町も議会もいろいろやっているが結果が出ていない。繰り返してやり続けることが大事だ。
- ▼ 首都圏から岩泉に来た。住民登録に来た窓口で渡されたのはゴミのカレンダーだけ。
- ▼ 新しいことをやりたくて岩泉に来た。山の中に仮想空間のようなものを作ってツリーハウスで暮らしたい。

議員の発言

- ▼ 町就農支援は予算を残している実情がある。所得制限をさらに緩和し、使い勝手の良い制度に変えていく必要がある。農業だけでなく、林業、水産業にも広がっていくよう働きかけていく。
- ▼ 町外に出ている出身者呼び戻す政策を研究しなければならぬ。
- ▼ 町の魅力づくりと情報発信が肝心だ。

ひとまひとインタビュー

6月定例会の傍聴者数はのべ4人でした。傍聴された方の中から、岩泉町地域づくり支援協議会の昆野雅人さんに傍聴した感想などをインタビューしました。



昆野 雅人さん
(岩泉・25歳)

町民の要望が届く議会に

―傍聴のきっかけは。
昆野 私は、移住・定住の
質疑・応答に興味があり、
傍聴しました。

―傍聴された感想はどうでしたか。

昆野 初めて傍聴しましたが、町の施策や今後の計画などが知ることができました。町の今と今後を知るためには議会傍聴はとても有効な手段だと思いました。

―議員に対する要望がありますか。

昆野 要望の声が議員の皆さんに届きやすい人もいれば、そうでない人もいます。町民の声が、さらに広範囲から寄せられるような仕組みづくりを期待しています。

―議会や町政に対する要望はありますか。

昆野 私のような町外の人間でも、温かく受け入れてくれる人、岩泉をより良くするため熱心に活動をされている人がたくさんいらっしゃる。そういった人たちが報われるような町政を期待しております。

第2回臨時会

6次産業の体制構築に

8000万円



第2回臨時会は、3月28日に開かれました。この臨時会では、補正予算が提案され、全会一致で原案のとおり可決しました。

■主な内容
▽岩泉町まるごと高付加価値化事業

8000万円

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、
9月上旬に
開会予定です



傍聴の手続きは簡単！
傍聴席の入り口で、名前と
連絡先を書くだけです。



灯 台

国道45号小本トンネルを抜けて右折すると「熊の鼻展望台」があります。

「展望台」のとなりに、今は撤去されましたが、「灯台」がありました。

私が小学生の時に設置され約半世紀にわたり毎日、夕方から夜明けまで灯を灯らしていました。

いわいすみ再発見

私が茂師で好きなアングルは、「熊の鼻」「展望台」そして「灯台」でした。

「灯台」は大型フェリーや漁船を見守り、はるかかなたまで、灯していました。

お疲れ様。そして、ありがとうございました。「灯台」とうございしました。「灯台」
鈴木 孝徳（小本・61歳）

町内の写真愛好家が撮影した
本町の風景を紹介するコーナーです。

私 ・ の ・ 好 ・ き ・ な ・ ア ・ ン ・ グ ・ ル ・ ⑦⑨

編集後記

熊本県などでの大震災を思うと、5年数カ月前の東日本大震災が思い浮かびます。一日も早い復興を願うものです。6月定例会では定住化対策など数々の議論がなされ閉会しました。

さて、私たち広報広聴常任委員の任期はこのメンバーである1年となります。

今後も議会の審議内容について分かりやすくお伝えするよう努力していきます。

町民の皆さまのご協力をよろしく願います。
(委員長 合砂丈司)

表紙にゆめ
安家地区の上日向幸一郎さん一家です。

子供たちは自然の中でのびのび育ち、いつも笑顔が絶えない一家です。

広報広聴常任委員会

委員長	合砂丈司
副委員長	三田地久志
委員	八重樫龍介
	林崎 竟次郎
	野館 泰喜
	坂本 昇



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。